

瑞雲

ずいうん

第80号 平成16年1月30日

瑞雲：めでたいしるしの雲の意

変化こそ「創造」、「ものづくり文化」のスタート。

直方鉄工青年会 第39代会長 飯野一義

新年明けましておめでとうございます。
旧年中は鉄工青年会活動に対し、多大なる御指導を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、21世紀に入り激動の時代といわれ数年が過ぎ去った今、2004年はイラク戦争問題、北朝鮮問題、国内の政治・経済を含めて、いろいろな面で日本の考え方、進み方における方向性と、すべての問題について、グローバル化が進む時代に生きるための日本人としての役割を、明確に示すことが必要とされる大切な年ではないかと思えます。

私たち中小企業を取巻く経済環境におきましても、時代の変化というものに敏感に適応する力を発揮しなければ生き残れない厳しい年を迎えております。従来の常識にとらわれず、周囲の変化に合わせて、自らも変化することを求められ、すべての問題に対しポジティブに考えていくことこそが必要ではないかと思えます。

鉄工青年会活動におきましても、今年40周年を迎える年ということで、「PRIDE」一今を熱く生きる一をスローガンに会員同心となり、昨年より準備活動を進めております。40周年を機会に今の時代にあった団体として、どのように変化していくのか、また変化こそが今の時代に求められている青年会活動の意義である



2003年5月／通常総会にて

と思えます。まさに、変化こそが「創造」であり、私たちの新しい「ものづくり文化」のスタートかもしれません。そして39代会長として残された3ヶ月の任期を、青年会をさらにヒートアップさせ、その熱い想いを40代会長へとタスキを繋ぎたいと思えます。どうか周年事業を目前としておりますのでより一層の御指導、ご支援賜りますことをお願いいたします。

—ひとり言—

私、今年36歳(昭和43年生)の申年男です。公私にわたり原点に立ちまして、何事も謙虚に努めてまいりたいと思えます。

ごあいさつ

新年明けましておめでとう御座います。青年会員の皆様とご家族、社員の方々の安全と健康とご多幸をお祈り致します。

新聞テレビ等の情報では、景気は上向きに推移しているとの見方が多いようです。私達を取り巻く環境は厳しく楽観できる状況でもなさそうです。大企業で良くても私達中小企業に何時波及するか、関東関西の中央で良くても北九州に何時波及するか、デフレ傾向の続く中受注価格が上昇するだろうか、原材料費のアップで製造原価が上昇し採算が更に悪くならないか等々心配は尽きませんが、お正月ですので悲観的には考えず、努力すれば必ず報われて良い結果が出ると信じて、1年をスタートしたいと思います。

私は昨年5月の通常総会で内藤前理事長の後を引き継ぐことに成りました。私には荷が重過ぎると悩みましたが、組合員の皆様のご協力により何とか半年を過ごすことが出来ました。今後も甚だ微力ですが全力を尽くしますので、ご指導とご協力をお願い致します。内藤前理事長の時に決定されました組合給油所の改装と、産業振興に役立てて頂く為の直方市への2000万円の寄付を昨年までに済ませました。ADOX福岡も直方コンピュータカレッジと一緒に財団化され、産業振興の拠点として生まれ変わることになります。福岡県、直方市、九州工業大学、近畿大学、直方商工会議所、直方の産業界が情報交換をし、産学官が一体となり産業界の活性化に大きな役割を果たすものと期待しています。青年会の皆様の積極的な参画をお願い致します。

鉄工青年会は今年40周年を迎えます。鉄工組合としても出来るだけの支援をしたいと考えています。20年前浅田鉄工(株)浅田社長が20代の会長で私が20周年実行委員長を仰せ付けられました。倉田副委員長、故半田事業部会長、花田懇親部会長、篠崎懇親副部会長、村井昇式典部会長、吉田祐司記念誌部会長の皆さんを中心に、夜遅くまであでもない、こうでもないと準備した事を懐かしく思い出します。20年前も重厚長大から軽薄短小へと構造変革、技術革新の時代で大変厳しい経済環境だったと記憶しています。20周年記念誌を見ますと、私は会員名簿の「ひとこと」の欄に「20年後には新しい姿で自信を持って、次の世代に引き継ぐよう一層の努力をしたい。」と書いていました。「光陰矢のごとし」の諺を痛感し進歩のない自分が恥ずかしい思いですが、更なる努力をせねばと思いを新たにしました。

毎日新聞朝刊の「発信箱」の欄で見ましたがジョン・レノンの妻オノ・ヨーコさんが「YES オノ・ヨーコ展」のカタログの冒頭に「ひとりで夢みる夢は／ただの夢／いっしょに夢みる夢は／現実となる」と言われているそうです。青年会の皆さんも全員で夢を描き、いっしょに夢みて夢を実現し、鉄工界の先頭に立って力強く鉄工界を牽引して下さいを希望します。



直方鉄工協同組合
理事長

石松 徹也

新入会員紹介

株式会社 石橋製作所 石橋 和彦

はじめまして、この度、(株)石橋製作所より入会させていただきました、石橋和彦と申します。入会してまだ僅かの期間しか経っておりませんが、それでも様々な事業や各種組合に参加させていただき、徐々にではありますが、鉄工青年会の何たるかが分かり始めた今日この頃です。入会しての率直な感想は、想像に反し(すみません…)“まじめ”というものでした。飲コミュニケーション主体という印象が強かった為、そう感じたのかもしれませんが。勿論、飲コミュニケーションは大事ですし、その飲コミュニケーションのなかで率直な意見をぶつけ合うというのは、有意義なことであると思います。事実、事業の後の食事会(と申し上げておきます)で、会長をはじめいろいろな方とお話をさせていただくにつけ、信念のある会であるという印象をますます強く、また再確認してきております。特に来年40周年を迎えるにあたり、会の中の緊張感も高まってきているのかなとも考えています。私もなにも分からないなりに、40周年の各事業に貢献できるよう、努力していきたい



いと考えています。

活動内容は全く違いますが、学生時代に所属していたサークルを運営するにあたって、いつも悩んでいたこと—どうやって会を活性化するか、どうやって強制力を持たない会にあって全員に参加してもらうか—ということに悩んでいたことを最近よく思い出します。結局、魅力的で求心力のある会にすることでしかないと思いますが、本当は変革や発展、これに至るプロセスが最も熱いタイミングであり、大変だけれども充実感の伴う楽しさが享受できるときであると思います。青年会は、地域への社会的責任もある重い会であることもあり、40周年を迎えるにあたり、変わろうとする力が今まさに溢れそうになっている状況であることを皆さんと話をしていると感じます。そのような時期に入会できて幸運だったと思っています。同時に入会させていただいた弟共々、宜しくご指導いただけますようお願いし、新入会員の挨拶に代えさせていただきます。

株式会社 田中信鉄工所 田 淵 元 悟

新年明けましておめでとうございます。昨年の6月に福山鉄工(株)福山貴信様のご紹介を頂き入会させて頂きました。(株)田中信鉄工所の田淵元悟と申します。

私は学生時代、部活に明け暮れる毎日で、精神力・気力・体力を培ってまいりました。

大学卒業後に就職した会社を2年、現在の会社に勤めて5年程度になります。鉄工に関して素人の私が、型打鍛造という奥の深い職種に入社当初は、正直やっていく自信はありませんでした。しかし、物を作る楽しさ、面白さなどを知り、現場を勤めてまいりました。

その後、営業、現在は総務・経理を担当しています。今回、歴史ある直方鉄工青年会の一員として未熟者の私ですが、諸先輩方や会員の皆様方から、御指導を受けながら、この鉄工業を学んでいきたいと思っております。

現在の長引く不況の中、大手などによる単価の値下げの要請、材料の値上げ又、金融機関の厳しい対応など様々な問題が企業を苦しめている現状の中で私たち青年といわれる世代が、未来の夢に向かって決して負けない、ギブアップしない決意で、この困難な時代に立ち向かっていかなければならないと思います。

第39代飯野会長のスローガン「PRIDE」を目標に持ち、諸先輩方が築き上げられた、歴史ある直方鉄工青年会の、会の一員として恥ずかしくない様に頑張っていきます。今後も御指導の程、宜しくお願ひ致します。



株式会社 石橋製作所 石 橋 正 彦

ご安全に、そして明けましておめでとう御座います。この度入会させて頂きました、石橋製作所の石橋正彦(弟)と申します。私は学校を卒業して全くの異業種で3年ほど、大阪や東京で働いた後、平成14年の夏に石橋製作所に入社いたしました。そんな若輩者の私ゆえ、鉄工業界のこと、直方のおいしい店など知らないことばかりですので、今後ともご指導いただくことばかりですが、やる気はありますので何卒よろしくお願ひいたします。

昨年を振り返ると、私にとっては二つの大きな変化がありました。一つは社内での大きなチャンスを戴いたこと(まだチャンスをものにできてませんが…)、もう一つはやはり鉄工青年会への入会です。会社経営の第一線で働いているというのはもちろんですが、何より個性豊かでユーモアのある多くの方々と一度に知り合えたというのは本当に嬉しい出来事でした。

昨年の青年会での活動としては出席して顔を覚えてもらうという最低限の仕事しかできませんでした。今年は石橋(弟)がいてくれて助かったよと言われるような事の一つぐらいは出来る様がんばる所存ですが、出来なかった時は来年の課題にします。

この広報誌の「瑞雲」という言葉ですが、意味を知らなかったので調べてみました。大辞林第2版によれば、「めでたい事の起こるきざしとして現れる雲」の事だそうです。まさに鉄工青年会の広報誌の名前としてうってつけだと感じました。今年一年自ら瑞雲を呼び込めるよう精一杯仕事に、青年会の活動に打ち込んで行きたいと思ひます。



平成15年度 青年会活動ダイジェスト



■9月／鉄工組合会館さよなら記念撮影

長い間、ご苦労さま。お世話になりました、ありがとう。



■5月／通常総会
内藤(前)理事長によるカンバイ!



■11月／直方産業祭り
子供たちに風車を作ってもらいました。
青年会ではてっかい手づくり風車。



■9月／研修旅行(韓国)
出発前にパチリ!



■8月／家族対象(陶芸教室)
筑前福智寮にて会員家族と陶芸を楽しみました。

直方鉄工青年会

福岡県直方市大字植木1245-2(ADOX福岡直方鉄工協同組合内)

発行人 直方鉄工青年会広報委員会

発行責任者 委員長 奈木野 正 照

印刷 株式会社ワールドプリンティング Tel.0948-25-5557